

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」

がん・生殖医療連携の整備と普及啓発(生殖小班)

岡山県のがん・生殖医療連携の現状と妊孕性温存患者のデータ集積

岡山大学大学院保健学研究科
岡山大学生殖補助医療技術教育研究 (ART) センター
岡山県不妊専門相談センター
中塚幹也

悪性腫瘍等の治療に関与する 医療スタッフにおける 生殖機能温存についての意識と その相談、支援の実態調査

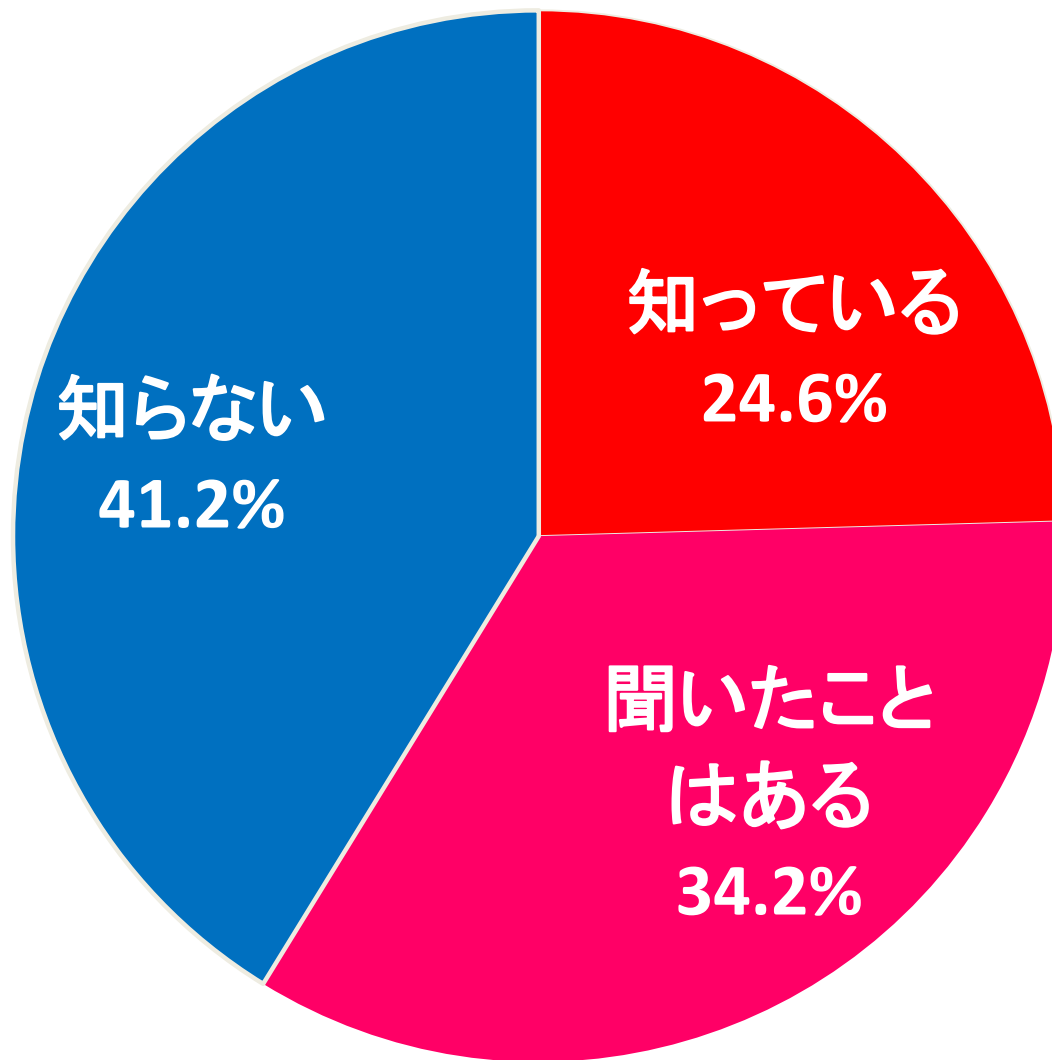
期間：2016年1～2月

対象：岡山県内の医療スタッフ

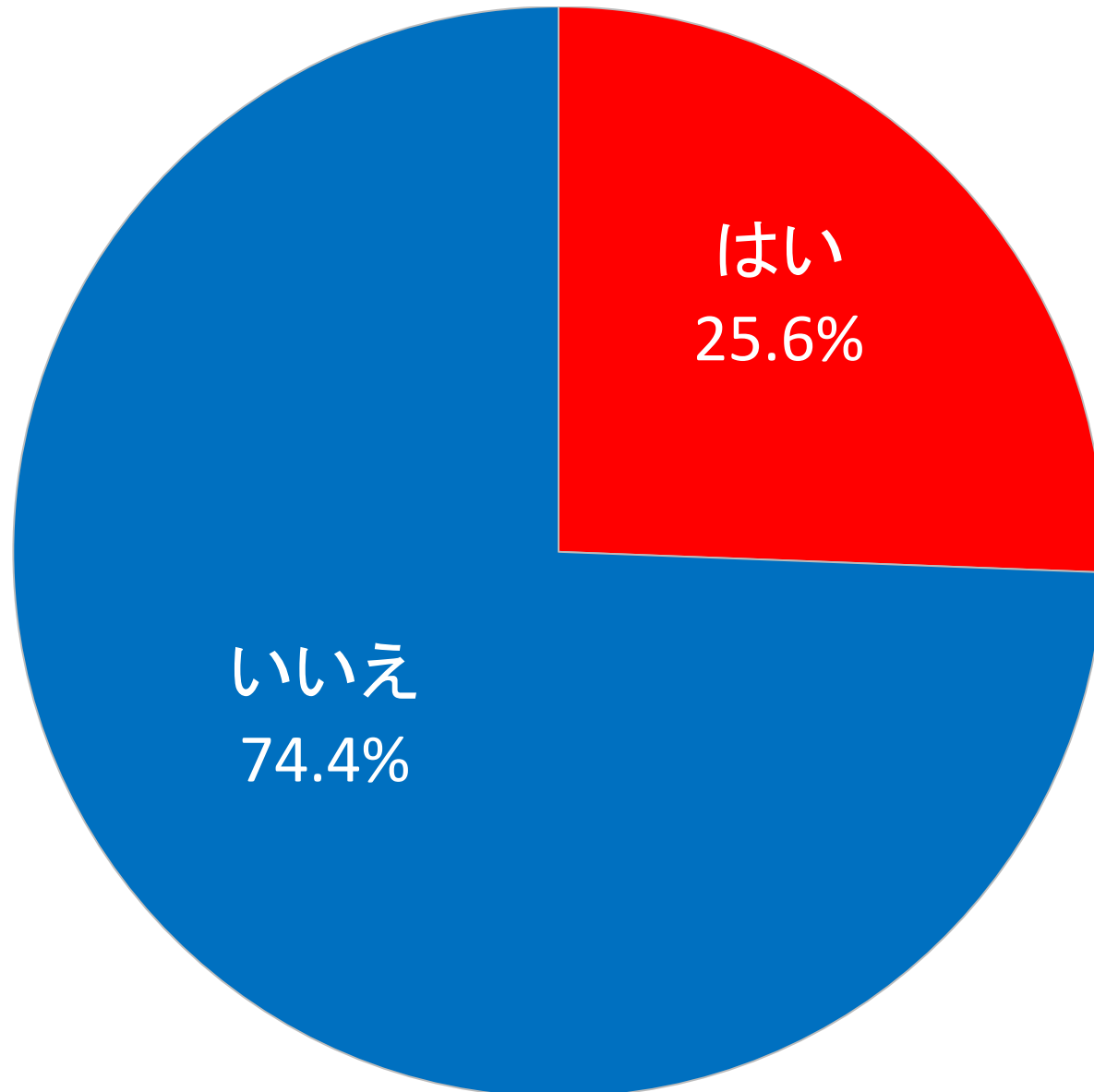
795名から回答を得た

(看護師 728名)

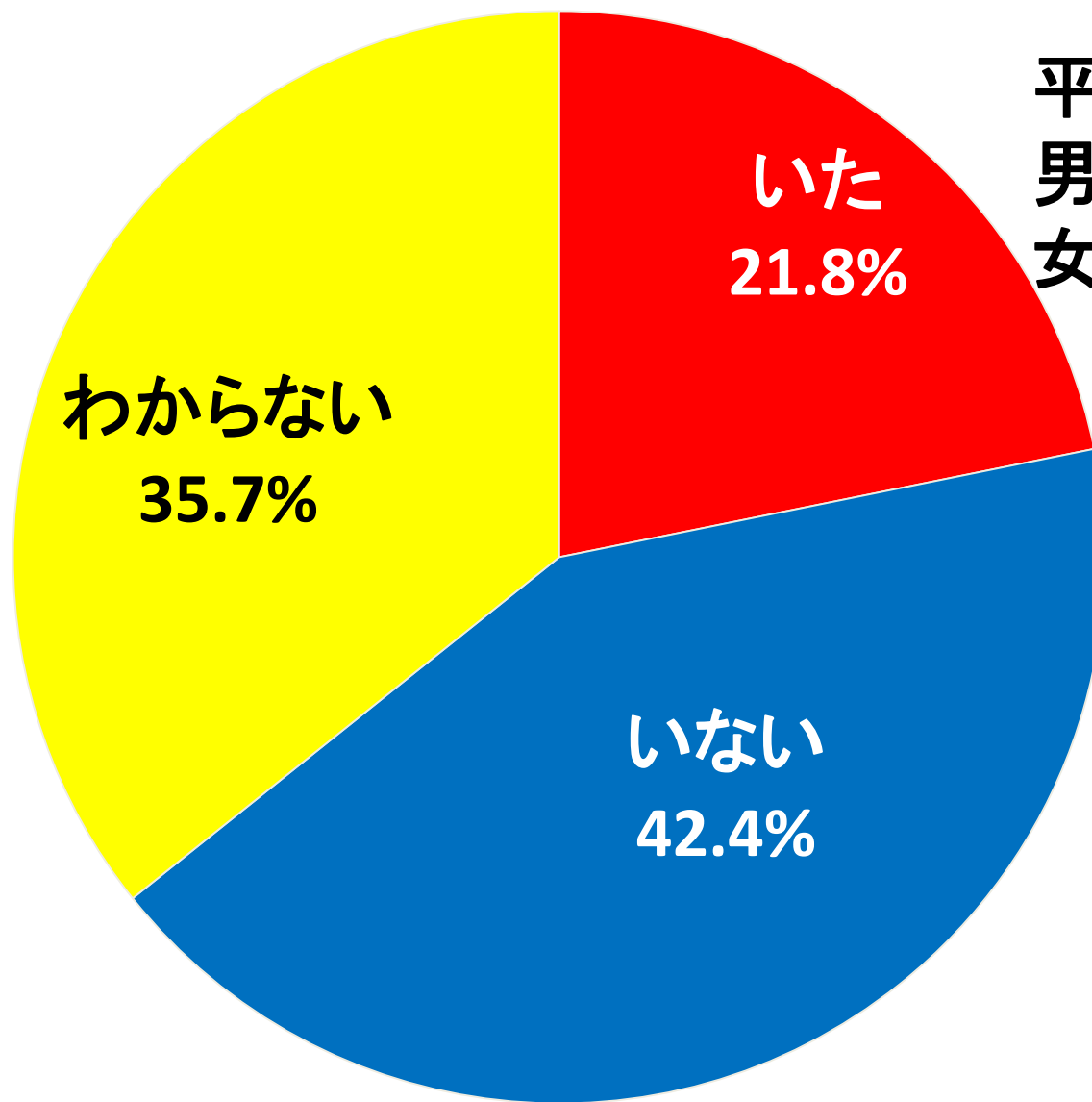
悪性腫瘍等の患者が、
生殖機能温存を行うことを知っているか



岡山県内に生殖機能温存を行うことができる施設があることを知っているか

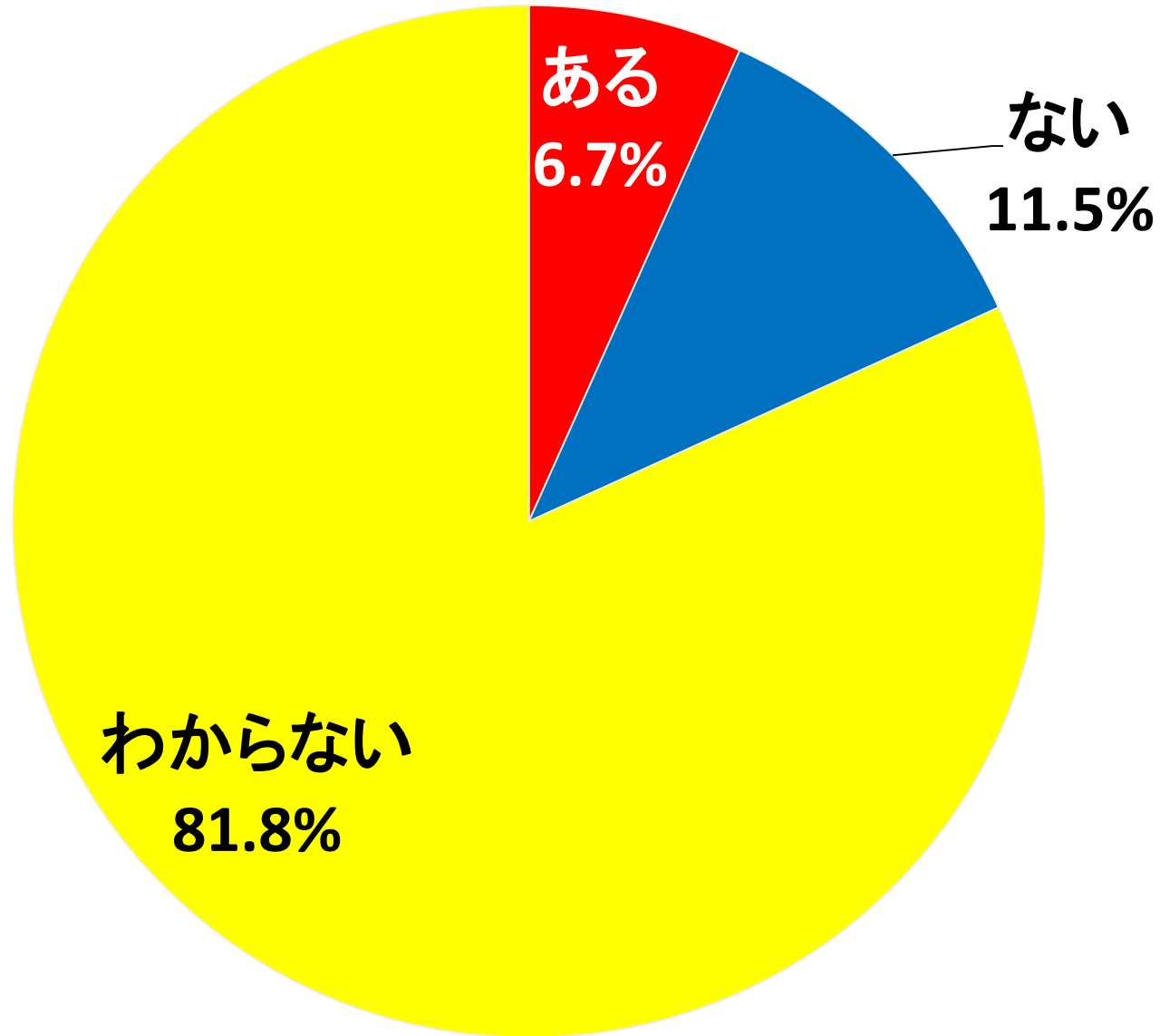


今までの勤務経験の中で、悪性腫瘍等の患者 で生殖機能温存の対象になる人がいたか

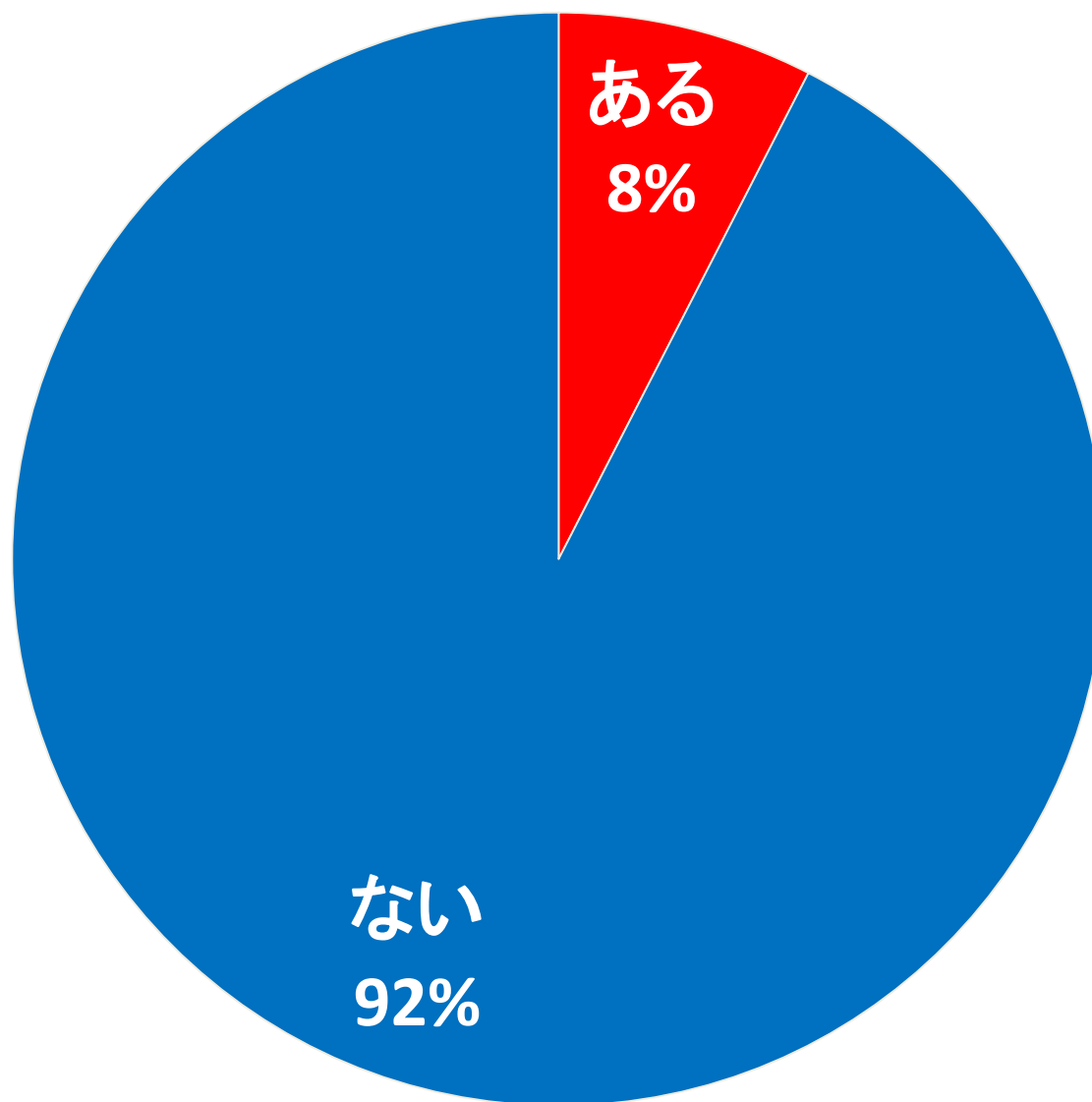


平均
男性: 約4.1人
女性: 約4.9人

化学療法や放射線療法等の治療で その後不妊となった例があるか

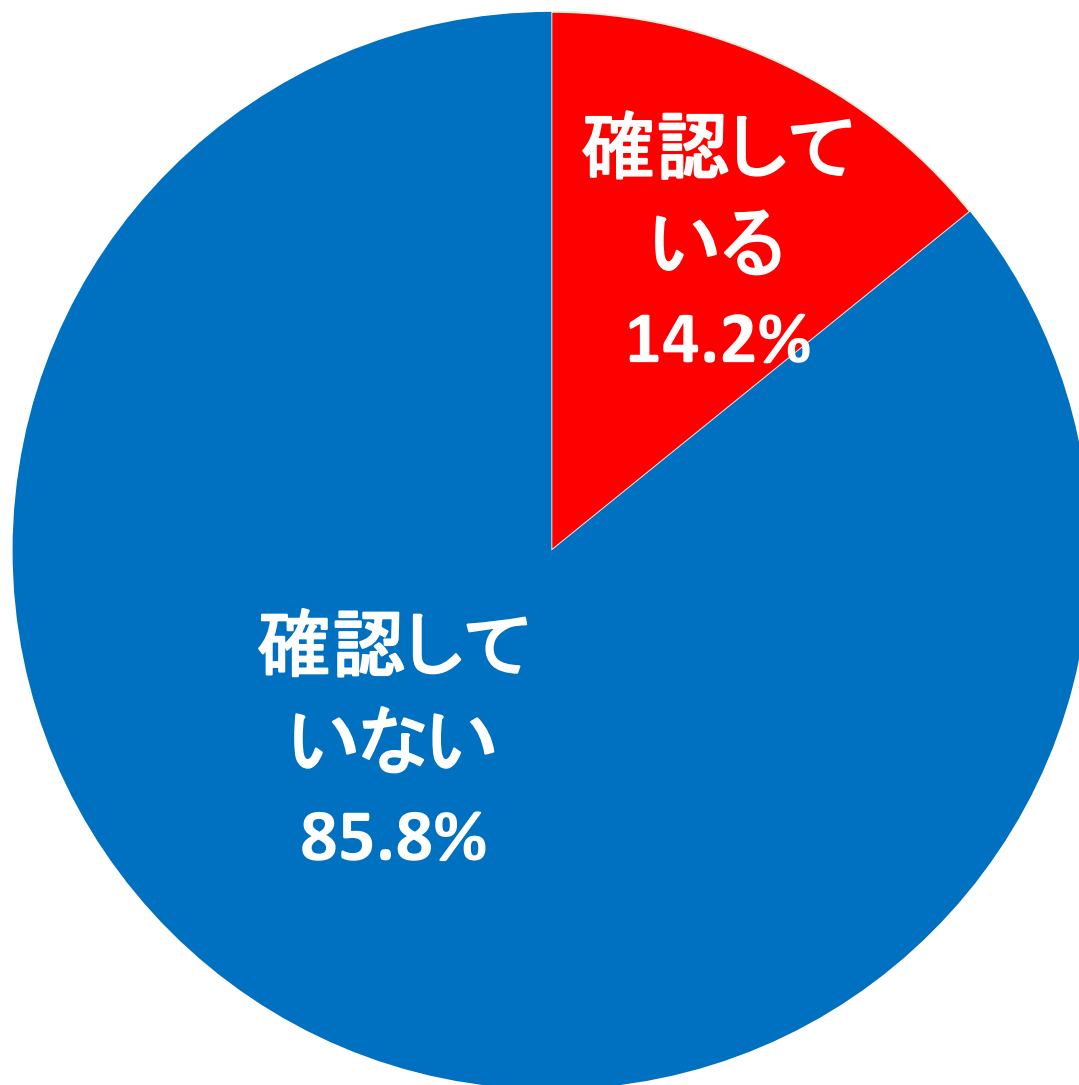


今までの勤務経験の中で、悪性腫瘍等の患者から生殖機能生殖機能温存について相談を受けたことがあるか

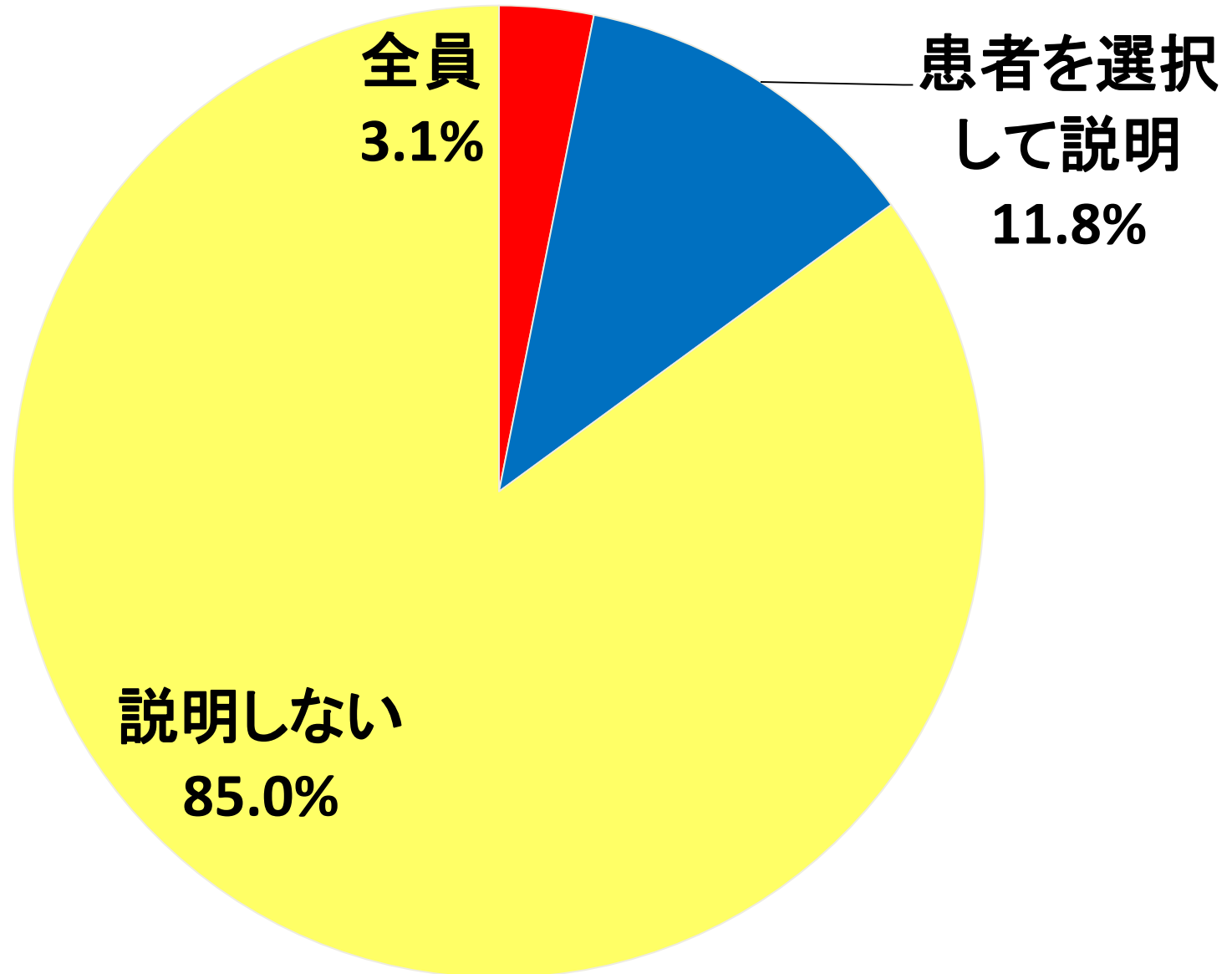


平均
男性：約3.9人
女性：約8.1人

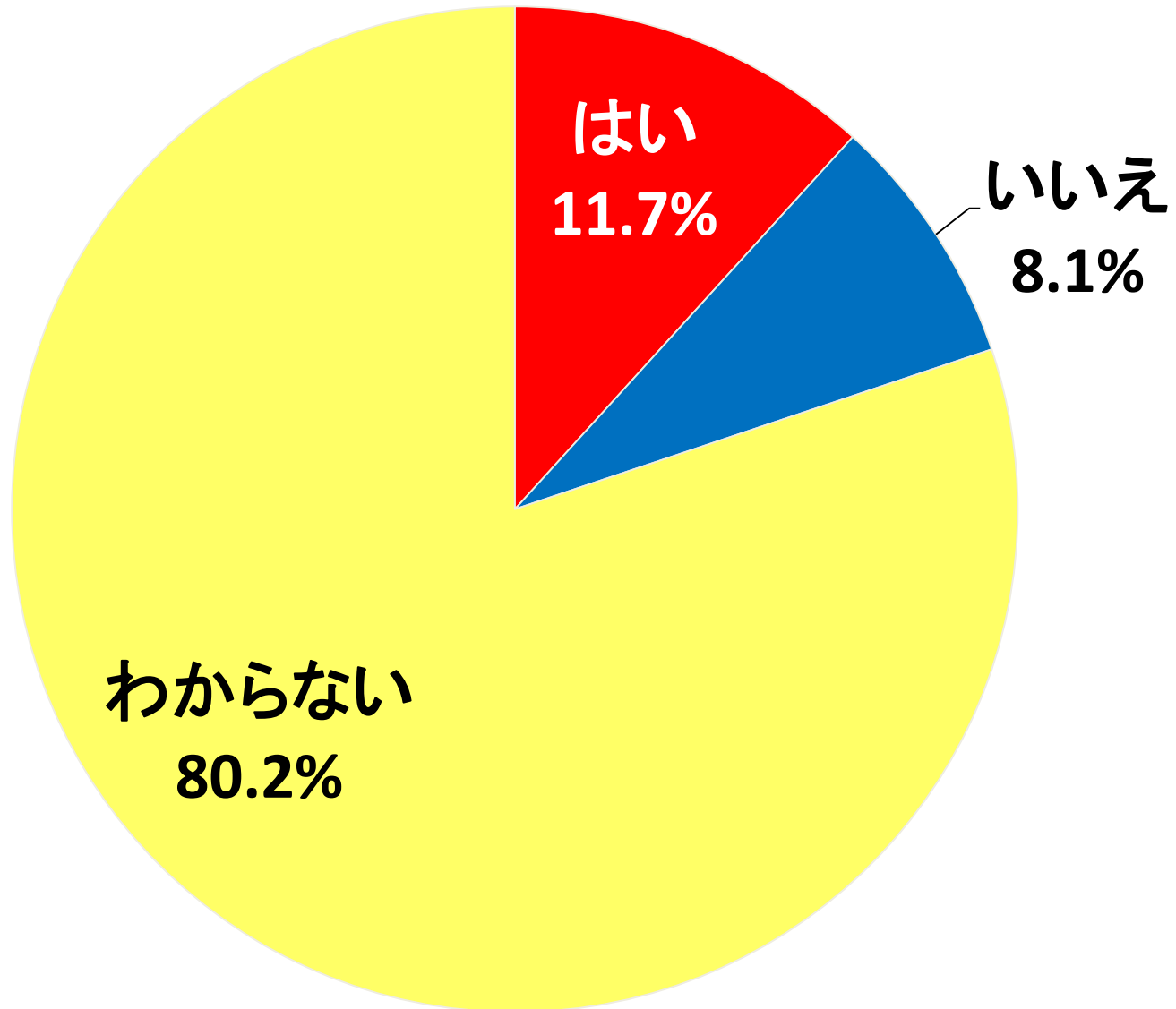
悪性腫瘍等の患者が治療をするとき、患者に
「将来、子どもを持ちたいか」確認しているか



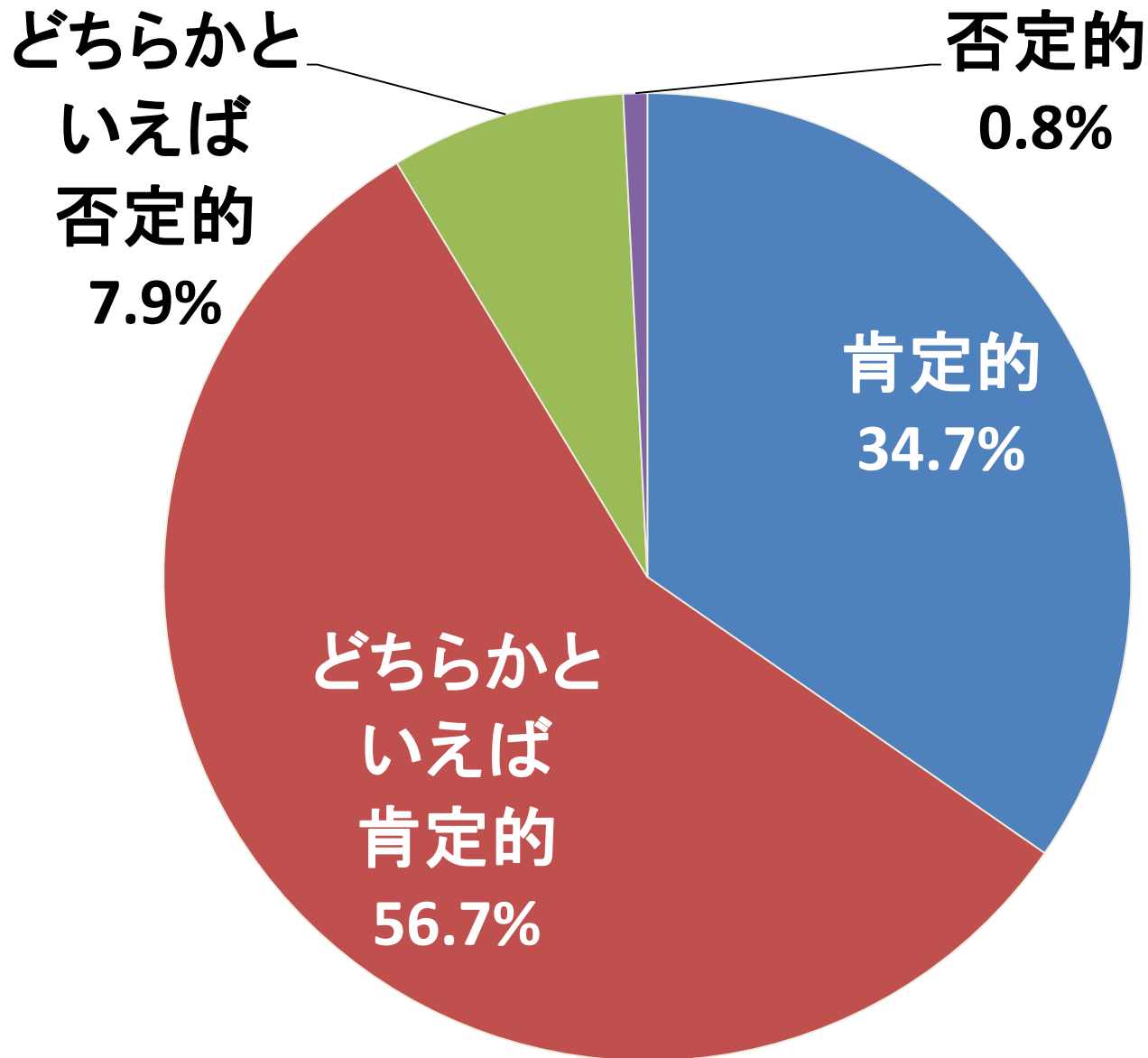
実際に、悪性腫瘍等の患者へ生殖機能 温存について説明しているか



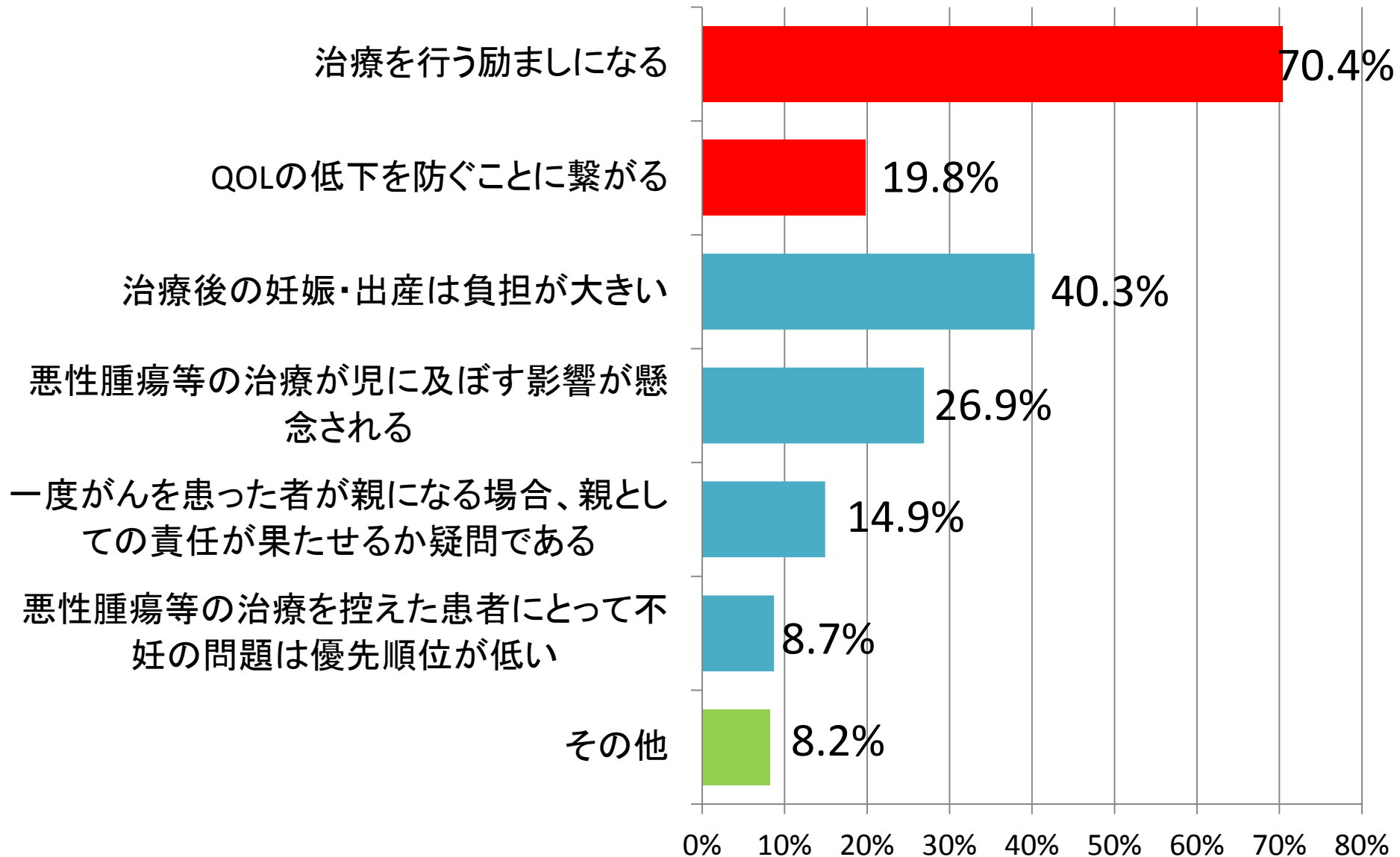
医師は生殖機能温存 について患者に説明しているか



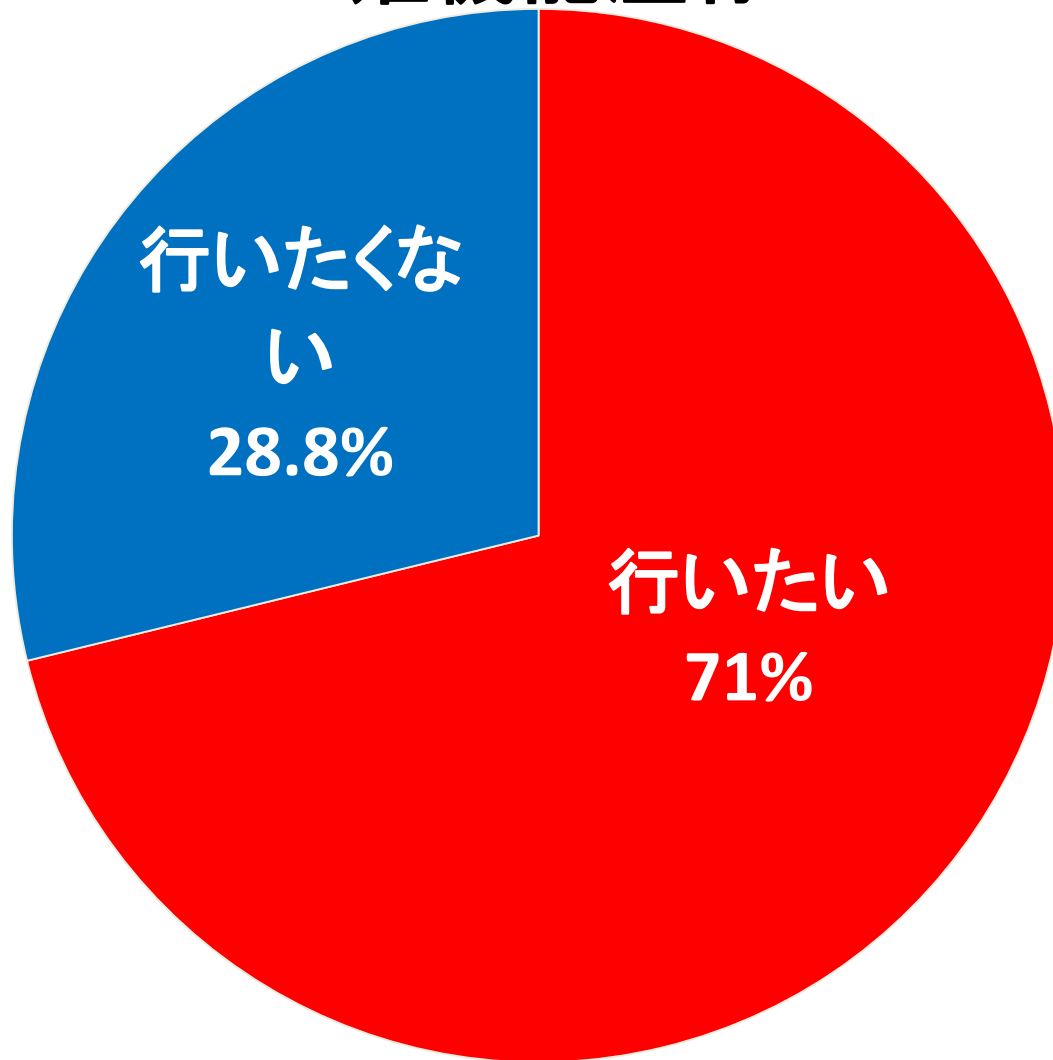
悪性腫瘍等の患者が生殖機能温存 を行うことについて



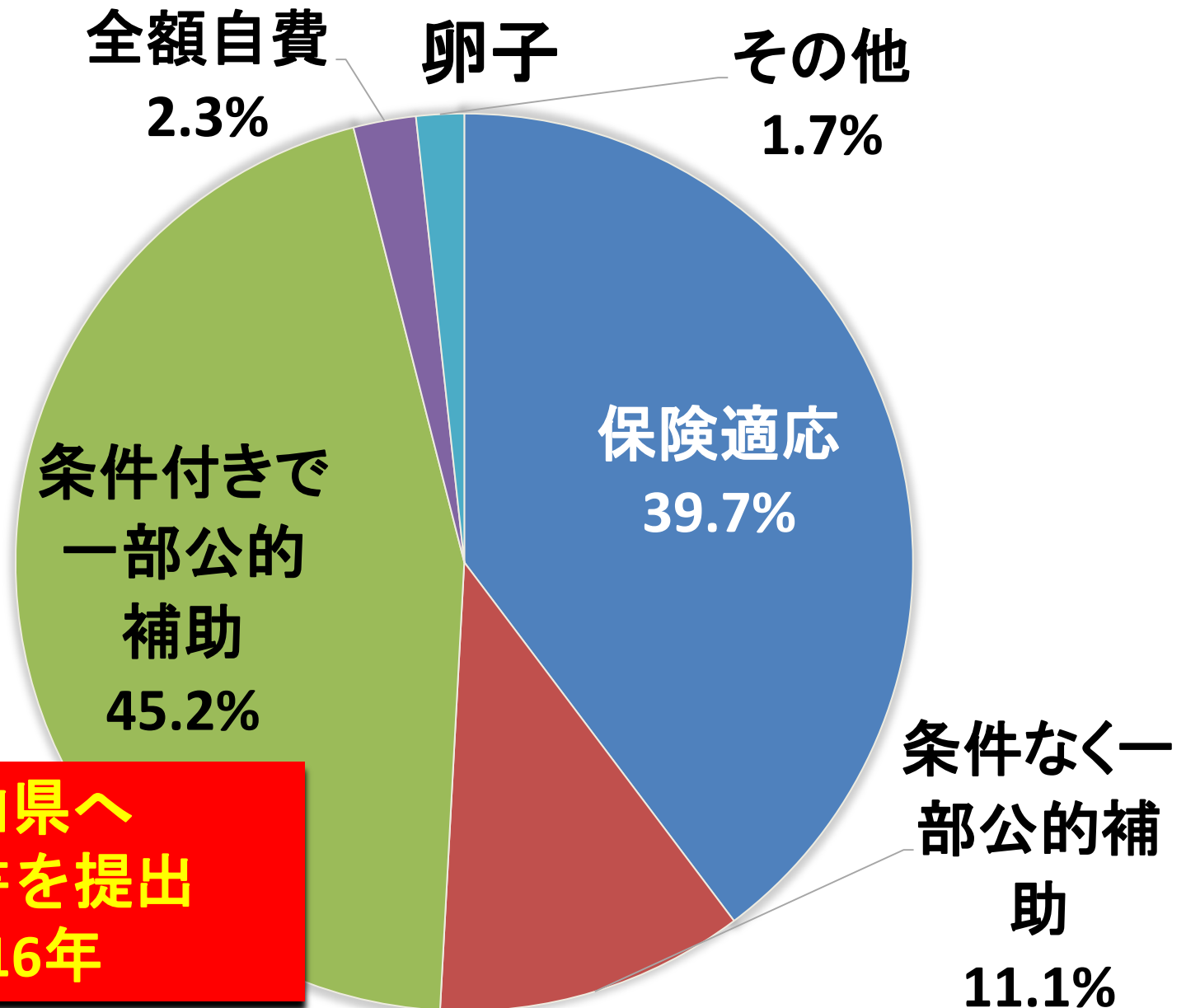
悪性腫瘍等の患者が子どもを持つことについて



自身が20-30代の独身で悪性腫瘍等の治療が必要となった場合
生殖機能温存

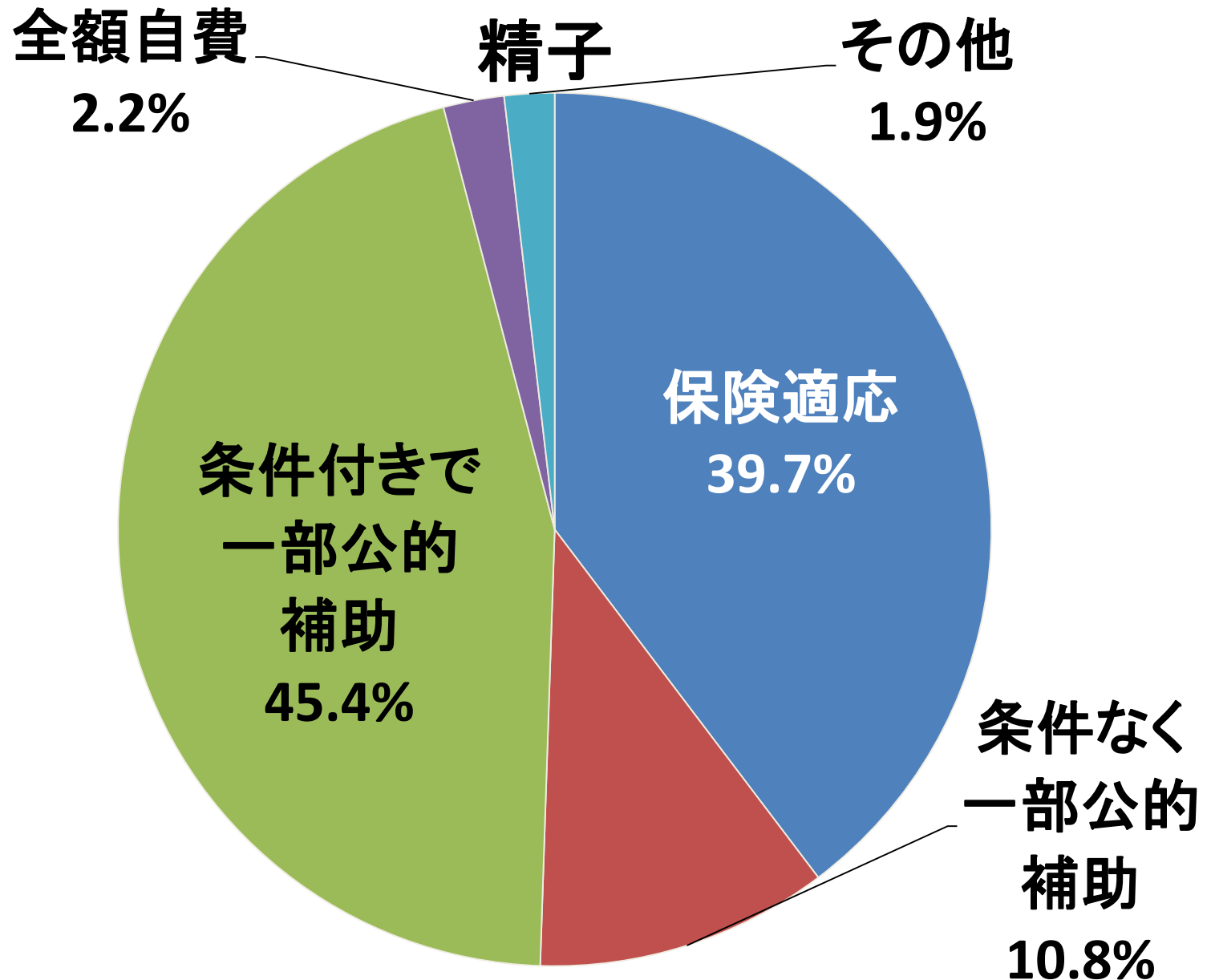


生殖機能温存の費用はどのようにすべきか



岡山県へ
要望書を提出
2016年

生殖機能温存の費用について



岡山県における啓発活動

2010年～

年間 1 ～2回の講演会

2013年～

がん患者の生殖医療を考えるネットワー

ク

2016年

がん患者の生殖医療を考えるネットワー

ク

ホームページ開設

「がんと 生殖医療」

日時: 2016年3月13日 (日)

13:00 - 15:50

会場: 岡山大学鹿田キャンパス
医学部保健学科棟3階 301大講義室

参加費 無料
駐車券あり

お気軽にご参加ください。

岡山における「がんと生殖医療」の動向

岡山大学大学院保健学研究科・岡山大学病院 産婦人科
岡山大学生殖補助医療技術教育研究 (ART) センター 中塚幹也

精子凍結保存の現状と課題

岡山二人クリニック 羽原俊宏

岡山大学生殖補助医療技術教育研究 (ART) センター

胚・卵子・卵巣凍結の現状と課題

岡山大学病院 産婦人科 鎌田泰彦

体外卵胞発育 (IVG) の現状と可能性 高山 修
ヒト卵巣組織のガラス化保存技術 本橋秀之

がん化学療法と妊孕性～看護師の立場から～

岡山赤十字病院 がん化学療法認定看護師 岡本みどり

乳がんの治療・予後と生殖機能への影響

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 乳がん治療・再建センター 枝園忠彦

乳がん患者に対する妊孕性保持支援の取り組み

岡山大学病院 乳がん看護認定看護師 露無祐子

がんと生殖医療のネットワーク 岐阜モデルの現状

岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 古井辰郎

総合討論
(20分)

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax: 086-235-6538

E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

岡山大学生殖補助医療技術教育研究 (ART) センター

生殖医療サポーターの会 OKAYAMA

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」

リプロ
カフェ

2016年3月13日 (金)
医療スタッフ向け
講演会開催

2017年2月24日 (金)
医療スタッフ向け
公開セミナー開催予定

ホームページを開設

2016年9月1日～

0000315

トップページ

ごあいさつ

医療関係の方へ

患者様へ

これまでの活動

ご相談・お問い合わせ

『がん治療』と『妊よう性温存』
についての正しい知識を、
適切なタイミングで知ることが大切です。



がんと妊娠・出産に
についてのご相談は

岡山県不妊専門相談センター
不妊・不育とこころの相談室
ホームページはこちらをクリック！

Tel:086-235-6542
月水金13:00～17:00

[メールはここをクリック](#)

※メーラーが立ち上がります

がん患者の方々が抗がん剤投与や放射線治療を受けた結果、あるいは、長期のホルモン治療のための加齢により、生殖機能が低下して妊娠できなくなるのを防ぐため、2013年12月、診療科の枠を超えた医師が集まり、「がん患者の生殖医療を考えるネットワーク」が発足しました。

このネットワークでは、乳腺外科、血液腫瘍内科、小児科、整形外科、形成外科、婦人科、泌尿器科などの悪性腫瘍の治療を行う医師と、岡山大学病院産婦人科や岡山市内のクリニックの不妊治療を行う医師とが、互いに連絡を取り合って診療にあたります。がん治療と生殖医療に関する情報を患者も医療スタッフも共有し、卵子や精子、卵巣自体の凍結保存を望むがん患者の方々が、スムーズに生殖医療を行う生殖医療施設を受診できる体制づくりを目指しています。

お知らせ

■外部LINK

■2016年10月10日（月・祝）

岡山大学 科学先取りグローバルキャンパス岡山公開講座

[トップページ](#)

[ごあいさつ](#)

[医療関係の方へ](#)

[患者様へ](#)

[これまでの活動](#)

[ご相談・お問い合わせ](#)

[トップ](#) > [患者様へ](#)

がんと妊娠・出産に
ついてのご相談は

岡山県不妊専門相談センター
不妊・不育とこころの相談室
ホームページはこちらをクリック！

Tel:086-235-6542

月水金13:00～17:00

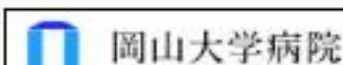
[メールはここをクリック](#)

※メーラーが立ち上がります

■外部LINK



■LINK



患者様へ

「妊孕性」と「妊孕性温存（妊孕能）」とは

妊孕性とは、一言でいうと妊娠しやすさ、妊娠する力のことをいいます。

妊娠には、女性では卵巣・卵子と子宮、男性では精巣・精子が重要な役割を果たします。しかしこれらの臓器は、抗がん剤や放射線治療に対して大変敏感でダメージを受けやすく、がんの治療によって機能が悪くなってしまう場合があります。また、がんの治療のために、子宮・卵巣・精巣を摘出しなければならない場合もあります。

このように妊孕性に影響する可能性があるがん治療を受ける前などに、妊孕性を守るための処置を行う医療があります。近年がん治療が進歩し、がんを克服した患者さんが増えてきていることから、この妊孕性温存のための医療に注目が集まっています。

妊孕性を温存する主な手段は細胞・組織の凍結保存です。臨床応用されているものとして、受精卵の凍結、また、ご結婚前であれば女性では卵子と卵巣、男性では精子の凍結があります。凍結保存の他にも、がん治療のダメージを少しでも軽くするための手段があります。妊孕性は一度失ってしまうと回復させることは極めて難しい、貴重なものです。がんと診断された患者さんやそのご家族はきっとがんの治療のことで頭がいっぱいになっていらっしゃるのだと思います。しかし、その中でも少し立ち止まって、将来のために知っておいていただきたいことが「妊孕能温存」なのです。

○資料：「ちょっと待って!! ～妊娠をご希望の皆様へ～」

相談窓口として 岡山県不妊専門 相談センター

の方へ

患者様へ

これまでの活動

ご相談・お問い合わせ

がんと妊娠・出産に
ついてのご相談は

岡山県不妊専門相談センター
不妊・不育とこころの相談室
ホームページはこちらをクリック！

Tel:086-235-6542

月水金13:00~17:00

[メールはここをクリック](#)

※メーラーが立ち上がります

■外部LINK



■LINK



■がんと妊娠・妊娠出産についてのご相談

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」

開所時間

月・水・金曜日	13:00～17:00	
火曜日（開放のみ）	12:00～17:00	
毎月第1土・日曜日	10:00～13:00	※第1日曜は事前予約の方のみ

開所時間内は、来所相談、電話での相談、相談室での図書や資料の閲覧が可能です。
来所での相談をご希望の場合は、電話やメールにてご予約をお願いいたします。

※火曜日はオープン日です。個別相談は行っておりませんが、自由にご来所いただけます。

※祝日、年末年始（12月29日～1月3日）はお休みです。

お電話でのご相談を希望の方

086-235-6542

月・水・金曜日 13:00～17:00（祝日はお休みです）



岡山県における 妊孕性温存の現状と展望

日時：2017年11月22日(水)

19:00～20:30

場所：岡山大学鹿田キャンパス

医学部保健学科棟 301大講義室

19:00

「がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA」のご紹介

岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

19:05

がん患者の妊孕性温存法の実際・妊孕性マップ作製

岡山二人クリニック

羽原俊宏

19:25

乳がん女性の妊孕性温存の流れ（具体例から）

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 枝園忠彦

19:45

妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017年

岡山大学病院 血液・腫瘍内科 藤井伸治

20:05

泌尿器がん患者の精子凍結保存の実際

岡山大学病院 泌尿器科

杉本盛人

岡山大学病院東門から入ってすぐに見える左の建物です。
御車でお越しの方には駐車券をご用意しています。



がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/ofnet/>

お問合せ先

岡山大学大学院保健学研究科 事務局

086-235-6538